

盛岡都市圏地域公共交通計画（案）説明会内容

1 開催日時

令和 7 年 6 月 9 日（月）18 時～19 時

2 開催会場

盛岡市 プラザおでって 3 階 おでってホール

3 参加者

11 名

【内訳】

盛岡市 9 名

滝沢市 1 名

矢巾町 1 名

4 周知方法

各市町の広報紙及びホームページ

5 配布資料

(1) 次第

(2) 盛岡都市圏地域公共交通計画（案）概要版

6 説明内容

別添「盛岡都市圏地域公共交通計画（案）に関する住民説明会」参照

盛岡都市圏地域公共交通計画（案）住民説明会 質疑意見内容

No.	参加者意見の要旨	事務局回答
1	矢巾町で実施しているデマンド交通について、利用者の感想を把握しているか。	令和３年度に実施した公共交通に関する住民アンケートにおいて、デマンド交通利用者の満足度は91%であった。一方で、デマンド交通のことを知らない、あるいは使い方が分からないという方も多く、今後、周知に力を入れていきたい。
2	盛岡市のゾーンバスに対する反省や、計画との関連性は。	盛岡市では、松園、都南、青山地区等でゾーンバスを実施してきたが、現在この形が残っているのは松園地区のみ。こちらも運転士不足などの関係で今後維持することは容易ではないと考えているため、交通事業者と協議を重ね、基幹となる路線を中心に、公共交通網の維持確保について検討する。
3	コミュニティバスを実施しているところはあるか。	【滝沢市】 福祉バスという形で運行している。基幹系統や公共施設に結びつけるようなコミュニティバス機能を検討している。 【矢巾町】 JR矢幅駅と岩手医科大学附属病院の間など、市街地でコミュニティバスを運行している。
4	５年間の計画期間のうち、検討のみを行う施策もあるのか。早期に実施をするものもあるか。	実施する体制が整った施策については、順次、実施していく予定である。
5	県内外の様々な先行事例があるが、研究した自治体の事例などはあるか。	インターネット等による情報収集や、八戸圏域の視察など、各地の取組みを研究している。地域特性や交通事業者の状況などを踏まえ、どのような交通ネットワークが望ましいか、交通事業者との協議を重ねながら検討していく。
6	よく路線バスの遅延の問題を耳にするが、バスロケーションシステムがどの程度認知されているか疑問に思う。こういった便利な仕組みが多くの方に認知されることが重要と感じる。	より多くの方に認知いただくことを目指し、PRを行っていく。
7	バス運転士不足の原因の一つとして、給与水準の低さということを耳にする。運転士確保のために補助金など出していると思うが、支援についてどのような考えか。	３市町の中でバス運転士確保に係る支援金を支給する取り組みがあり、計画期間においても継続する予定。一方で、一時的な支援金だけでなく経営改善につながる取組みも必要と捉えており、公共交通利用者の確保や、路線バスから地域内交通への転換などの施策について、実施を検討していく。

No.	参加者意見の要旨	事務局回答
8	盛南エリアが見直し想定エリアとなっているが、今後の人口減少や高齢化などを踏まえた見直しを想定するものか。	当該エリアの人口分布や移動実態などについて、現状分析を行っている。都市化に伴う人口増に対しバス路線が少ないといった課題が見られたことなどもあり、路線バスと地域内交通を組合せたネットワークの再編を行うものである。
9	パークアンドライド（P&R）、サイクルアンドライド（C&R）について、主要駅などが結節点として記載されているが、盛南エリアの交通結節点はどのように考えているか。	各結節点に駐車場などを確保できれば理想的であるが、用地や費用面の問題などもあり難しいところである。将来ネットワーク図で示した地域拠点等も含め、拠点の設定を今後検討していく。
10	都市圏施策2-2の実施事業「地域のまちづくりや主要施設との連携」について、郊外のみならず、街中の施設との連携も含め検討いただきたい。複合商業施設「monaka」前のバス停のベンチがいつも埋まっているが、あのような光景が増えると良い。設置に協力する施設に感謝状を出すなど、そういった取り組みも検討いただきたい。	過去には、民地にベンチを設置した場合、固定資産税を減免するような取り組みもあった。そのような取り組みも含めて検討し、民間施設との連携に力を入れていきたい。
11	路線バスの運賃について、同じバス会社のバスを乗り継いでも初乗り運賃がかかるような部分は、交通系ICカードを活用することで乗り継ぎ利用の管理もできるのでは。そういった検討もお願いしたい。	乗り継ぎの促進や交通系ICの普及は本計画で推進したい部分である。ご提案いただいた内容も含め、事業者と協議しながら検討していく。
12	例えばおでかけパスについて、制度そのものの周知もそうだが、どこで購入できるといったことなど、適切に周知されれば、利用者も増えるのでは。公共交通の利用者が増加するような丁寧な広報をお願いしたい。	皆様に必要な情報を届けることで利用者の増加につながると考えている。行政や、交通事業者も含め、連携して取り組んでいきたい。